

# やまばと通信

2016.3.1 発行  
第 212 号  
多摩市立図書館  
042-373-7955



△冬のスペシャルおはなし会（図書館本館児童書研究室にて）

## ◇冬のスペシャルおはなし会！

～本館サーブिस係から～

昨年のクリスマス、図書館本館の「へなそうるのへや」で、渡辺鉄太さんが、ご自身の著書『コアラのクリスマス』（福音館書店）のよみきかせとオーストラリアの夏のクリスマスの話をしてくださいました。

おはなし会の後も鉄太さんの周りには次々に子どもたちがやってきて一緒に写真を撮ったり、「どうしたら絵本作家になれますか」と質問をする小学生の姿もありました。

「へなそうるのへや」は、渡辺茂男さん、渡辺鉄太さんの著書を展示したコーナーです。図書館本館の児童書研究室内にあります。

渡辺茂男さんは、多摩市に住み、亡くなるまで絵本を書いたり翻訳の仕事をしていました。茂男さんの息子渡辺鉄太さんは、現在オーストラリアで絵本の著作、翻訳をしています。茂男さんが亡くなったあと、鉄太さんからたくさんの児童書を寄贈していただき 2 年前にこのコーナーができました。現在は、オーストラリアについての本も展示しています。

本館へいらしたときはぜひ「へなそうるのへや」をのぞいてみてください。



## ～「タマゴリー（多摩の天然氷）」～

～本館地域資料係から～

明治の初めから大正にかけて、連光寺の河原で近くの山の湧き水と冬の寒さを利用した天然氷の製造が行われていました。製氷用の水槽に張った水は一晚で 10 センチの厚さまで凍ることもあり、切り出した氷は氷室に保管した後、夏に府中の料理屋などに出荷され、「タマゴリー（多摩氷）」の名で広く親しまれました。その後、北海道や長野などの遠方から運ばれた天然氷や機械で製氷した氷が普及するようになって氷の出荷は続けられていましたが、大正 12 年 9 月 1 日の関東大震災によって製氷、貯蔵施設が損壊すると、そのまま施設は再建されることなく「タマゴリー」は人びとの前から姿を消していきました。

参考資料：『多摩町誌』（多摩市 1971 年）、『こどものための歴史のさんぽみち』（多摩市 1980 年）、『郷土たま 第 1 号「連光寺用水考」』（多摩市史談会 1982 年）、『多摩市史 資料編三 近代』（多摩市 1996 年）、『多摩市史 通史編二 近現代』（多摩市 1999 年）

## 第8回子ども読書まつり《ほんともフェスタ》 ～ほんはともだち ほんにとともだち～

～本館子ども読書支援係から～

### 【これからの主なイベント】

#### ◇人気絵本画家・漫画家・イラストレーター講演会

テーマ 「絵本画家が生まれるまで そして 絵本の絵ができるまで」

会場 図書館本館 2 階閲覧室

開催日時 3 月 20 日（日・祝） 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分

講師 田中 <sup>たなか</sup> <sup>ろくだい</sup> 六大氏（多摩市在住） 申込・先着順（定員 40 名まで）

※2 月 10 日（水）から受付開始。すでに定員に達している場合もあります。

詳細についてはお問合せ下さい。

#### ◇展示（市立小・中学校、ボランティア団体の読書活動等の紹介など）

・グリナード永山 2 階正面入口広場

期間 3 月 5 日（土）午前 10 時から 3 月 8 日（火）午後 9 時まで

・関戸図書館活動室

期間 3 月 11 日（金）午前 10 時から 3 月 13 日（日）午後 5 時まで

・図書館本館こども図書室前

期間 3 月 18 日（金）午前 9 時 30 分から 3 月 27 日（日）午後 4 時まで

#### ◇エンディングおはなし会

会場 図書館本館こども図書室おはなし室

開催日時 3 月 27 日（日）午前 11 時から午後 3 時 30 分まで

（途中休憩あり）

※《ほんともフェスタ》の詳細につきましては、チラシ、ポスター、図書館ホームページ、多摩市公式ホームページをご覧ください



## 図書館職員からの本の紹介

～本館サービス係から～

### 『うめ版 新明解国語辞典×梅佳代』

梅佳代／写真 三省堂 2007

1981年生まれの若き日本の写真家・梅佳代（うめかよ）さん。日常のおかしな一瞬をとらえた写真集『男子』、梅家の10年をおさめた『じいちゃんさま』をはじめ、身近な人達を被写体にし、日常風景を昭和スナップ風に撮影した作品などがあります。

今回ご紹介するのはそんな梅佳代さんと、なんと三省堂の『新明解国語辞典』とのコラボレーション作品です。辞典というと、単語がびっしり並んでいる印象ですが、見開き1ページで1単語を紹介しており、右に辞典から抜粋された1単語が、左にはその単語に合わせた梅佳代さんの写真が掲載されています。日常風景だけど文字と合わさるとちょっと笑えてほっこりする、そんな写真が載っています。個人的には「凝り性」、「ちえすと」、「座席」のページがオススメです。

### 『黒部の山賊一定本 アルプスの怪一』

伊藤正一／著 山と溪谷社 2014

黒四ダム（黒部ダム）の西に連なる北アルプスの山並みの中に三俣蓮華岳という山があります。その稜線にある三俣山荘の小屋主が著者です。昭和20～30年代に黒部川源流域を愛し、山の生き物を狩ることを糧とし、山に暮らした人たちの話です。黒部川源流域に関わった人たちの変遷、山奥の様々な様子が語られています。昭和38年の黒四ダム完成によって山の環境は変化し、今また山に若い人たちが増えてきたようです。昔の山を懐かしむ方々にも、これから楽しみたい方々にもお勧めしたい本です。

また、黒四ダム前史(黒部第三)の山・人・苦労が映像で観るように伝わる『**高熱隧道**』吉村昭／著 新潮社 も合わせて読んでいただくと山を知る楽しみが一段と増すでしょう。